

定例記者会見資料



○日 時	令和元年7月11日（木） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市の認知症カフェへの参与観察調査について 開催日：2019年7月20日（土） 開催時間：13時30分～（1時間程度） 会場：「オレンジカフェはまだ」 （〒697-0037 島根県浜田市新町20 ひだまりふっくら内） 参加者： 島根県立大学総合政策学部齋藤ゼミ2年生8名、教員1名 オレンジカフェはまだ 世話人金子様、参加者の皆様 <p style="text-align: right;">……………〔資料1〕</p>
○資料提供項目	<p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大邱保健大学（韓国）学生の短期留学受入について 7月21日 米子空港到着 7月22日～24日 出雲市での活動 7月25日～29日 隠岐での活動 7月30日～8月2日 石見地方での活動 8月4日 米子空港より帰国 <p style="text-align: right;">……………〔資料2〕</p>
○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県立大学の実態調査」結果報告会 …………… 7月19日（金） 11時00分～12時00分 @島根県立大学浜田キャンパス 中講義室3 ・令和元年度 島根県立大学支援協議会 【総会】 主催：島根県立大学支援協議会（事務局：浜田市） …………… 7月22日（月） 10時30分～11時10分 @島根県立大学浜田キャンパス 交流センター会議室 【意見交換会】 共催：島根県立大学支援協議会（事務局：浜田市） 島根県立大学（事務局：地域連携課） …………… 7月22日（月） 11時15分～12時15分 ※総会終了後 @島根県立大学浜田キャンパス 交流センター旧ビューライン

・学生調査員育成事業の実施について

【第2回授業】

…………… 7月 11日(木) 14時50分～16時20分

@島根県立大学浜田キャンパス 大講義室1

講師：総務省政策統括官（統計基準担当）付

統計企画管理官室 辻元 亮 氏

【事業説明】

…………… 7月 11日(木) 16時30分～17時00分

※授業終了後

@島根県立大学浜田キャンパス 会議室B

【出雲キャンパス】

・令和元年度 島根県立大学出雲キャンパスFD研修会

講師：海士町長 大江和彦氏

…………… 8月28日(水) 15時30分～17時00分

@島根県立大学出雲キャンパス 大講義室

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 令和元年9月6日（金）13:30 から開催予定です。

【資料 1】

齋藤ゼミ 研究計画

「中山間地域における認知症支援啓発活動の可能性の検討 ——浜田市の事例から——」

島根県立大学総合政策学部 准教授 齋藤暁子

1. 研究の目的・効果

少子高齢化が国内でも急速に進む中山間地域において、増加する認知症高齢者への支援は喫緊の課題である。介護保険制度の改正により地域住民による支援の役割が期待されているが、NPOなどの市民団体の少ない中山間地域では住民同士のネットワーク化が難しいことが指摘されている。

このような現状において、市民の認知症に対する理解を深め、支援の担い手として育成する啓発活動は重要である。本研究では、浜田市の認知症支援の現状について担当者や認知症当事者・家族への調査（半構造化インタビュー調査）を通じて明らかにするとともに、浜田市で実施される認知症支援の啓発活動「しまねRUN 伴」に企画段階から参加し（参与観察調査）、大学生の立場から地域での認知症支援の啓発活動の可能性を検討する。

研究を通じて、浜田市の認知症支援の現状と課題を明らかにするとともに、認知症に対する啓発活動の可能性を検討する。最終的には、地域の認知症支援において活性化する要因を明らかにし、支援において大学や大学生が果たす役割について提言を行う。

2. 研究内容

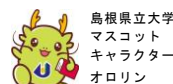
- ・【調査1】 浜田市における認知症支援の現状把握
研究方法：認知症支援についての資料等文献調査、
市の認知症支援担当者への半構造化インタビュー調査
民間の認知症支援団体代表への半構造化インタビュー調査
認知症当事者・家族への半構造化インタビュー調査
重度認知症高齢者受け入れ施設での参与観察調査
- ・【調査2】 認知症支援啓発活動の可能性の検討
研究方法：認知症支援の啓発活動「しまねRUN 伴」への参与観察調査

3. 研究スケジュール

- 6月12日（水） 研究構成員の認知症サポーター養成講座受講
- 6月19日（水） 浜田市健康医療対策課 地域包括ケア推進係 担当者との面談 【調査1】 浜田市の認知症支援についてのインタビュー調査の実施
- 7月10日（水） 【調査2】 しまねRUN 伴の実行委員への半構造化インタビュー調査の実施



公立大学法人
島根県立大学



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

- 7月20日(水) 【調査1】オレンジカフェはまだでの参与観察調査・半構造インタビュー調査の実施
- 6月～7月 【調査1】 認知症支援団体へのインタビュー調査の実施、分析
- 6月～11月 【調査2】 認知症支援の啓発活動への参与観察調査の実施(しまねRUN 伴の企画段階から学生が参加し、大学生の立場から地域の認知症支援およびその広報について検討する。
- 10月 ・10月13日(日)大学祭(海遊祭)でのゼミによる研究経過報告(【調査1】の途中成果の報告・【調査2】地域の認知症支援活動およびRUN 伴の活動報告)
- ・10月20日(日) しまねRUN 伴への参加(参与観察調査の実施)
- 12～1月 【調査2】の分析、【調査1】・【調査2】をふまえた最終報告資料の作成
- 2月 島根県立大学「縁結びフォーラム」での最終研究成果の報告

尚、本研究は、令和元年度学生の石見地域研究事業の助成のもと実施しております。

<連絡先>

島根県立大学 総合政策学部

准教授 齋藤暁子

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

島根県立大学浜田キャンパス

TEL : 0855-24-2230 Fax : 0855-24-2296

携帯 : 090-7938-7524

E-mail a-saito@u-shimane.ac.jp

【資料 2】

令和元年 7 月 11 日
島根県立大学出雲キャンパス
教務学生課 担当／錦織・坂田
TEL0853-20-0214

大邱保健大学（韓国）学生の短期留学受入について

○経緯

平成 30 年 10 月に交流協定を締結した大邱保健大学（韓国・大邱市）の食品栄養学科 1 年生 2 名、2 年生 1 名（合計 3 名）が、短期留学のため出雲キャンパスを訪れます。今回が交流協定締結後初となる留学生の受入となります。

○特徴

今回の交流事業は、国立研究開発法人科学技術振興機構の主催する日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」に採択され、「栄養科学と日本文化体験プログラム」として開催します。

○研修予定

出雲キャンパス（看護栄養学部健康栄養学科）での栄養学、食品学等の授業への参加や地域住民との交流、隠岐（知夫村及び隠岐の島町）でのボランティア活動や健康教室への参画、浜田市での韓国語講座へのゲスト参加、匹見町での民泊体験や地域の方への韓国料理をふるまう等、島根でしか体験することのできない、地域に根付いた体験内容、活動内容となっています。

知夫村では、「海岸クリーン作戦」と称して、留学生と出雲キャンパスの学生が力を合わせて、海岸清掃ボランティアを行います。また、隠岐の島町では、仁万の里（障がい者支援施設・福祉型障がい児入所施設）において食品加工のボランティアを行う予定です。

匹見町での民泊体験では、そば打ちや神楽の練習場を訪問する地域体験活動を行います。また、翌日には、韓国の大学で日頃の食品栄養学の学びを活かした「韓国料理」を地域コミュニティの方に振るまい、地域の皆さんが自慢の郷土料理を韓国人留学生に振るまい「食での交流」を深めます。行程には、出雲キャンパス、浜田キャンパスの学生が帯同し、留学生のサポートを行います。



公立大学法人
島根県立大学



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン